

南小だより

佐世保市立吉井南小学校
No.29 R. 4. 1 2. 1 6 (金)
文責：山口伸一郎

学力向上をめざして取り組んでいます。

14日(水)の2・3校時、全学年を対象に、毎年この時期に行っている学校独自の学力検査を実施しました。教科は、国語と算数の2教科で、現学年でこれまでに学習した内容までが、出題対象となっています。どの学年も集中してテストに取り組む姿が見受けられました。

今年度の全国(6年)・県(5年)・市(4年)それぞれの学力調査の結果については、市の調査は全国・市の平均を上回っていますが、全国・県の調査については、それぞれに全国・市の平均を下回る結果となっています。結果については、教職員で情報及び分析結果を共有し、日々の学習指導に生かすべく取り組んでいるところです。それぞれの学年によって傾向は違うのですが、**どの学年にもある程度共通して言える課題として、国語では、「読むこと」及び「書くこと」があげられます。**「長い文章を読み、その内容を理解する」、「文章の内容を要約して書く」、「自分の考え等を、〇〇字以内にまとめる」等の問いについて、うまく解答できていない傾向が見られるようです。



そのような実態を踏まえ、本校では、昨年度から、職員の学習指導における研修について、「**読解力の向上**」を目標に取り組んでいます。言葉を大切にして、意味やつながり等を意識しながら、文章を読み深めていく力を身に付けることで、国語科だけに留まらず、他教科も含めた様々な学習の伸びにつながっていくと考えています。このような点から、『**長い文章であっても、まずはじっくりと読み、その要旨をできる限り正確にとらえ、設問においてもその趣旨に沿って解答することができる**』、『**日々の学びの中で、自分の思いや考えをしっかりともち、表現することができる**』ことをめざして、これからも指導を続けていきたいと思います。

今回の学校独自の学力検査についても、その結果について分析を行うとともに、しっかりと指導の振り返りにつなげ、明らかになった課題を学年のまとめ及び次学年のスタートにつなげていけるように努力を重ねていきたいと思います。家庭学習の充実等については、引き続きご家庭に協力をお願いする部分も多々あるかと思いますが、子どもたちの学習の充実のために、今後ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



算数の「チャレンジ問題」に取り組んでいます。

本校では、今年度4～6年生の「算数科」において、子どもたちの習熟度等を考慮した少人数指導を実施しています。併せて、「子どもたちが主体性をもって意欲的に学習に取り組む」、「前学年の既習事項をおさらいすることで、学習内容の一層の定着を図る」等を目的に、校舎内の階段踊り場に学習プリントコーナーを設置し、自分のペースに合わせて取り組む『チャレンジ問題』に取り組んでいます。前学年のプリントを全て修了すると、校長室で修了証を授与するようにしています。子どもたちには、友だちと声を掛け合い、それぞれのペースで熱心に取り組む姿が見られます。特に、4年生については積極的な取組が目立ち、中には、予習も一生懸命にがんばり、既に現学年の内容を修了した子どもたちも出てきました。

「好きこそものの上手なれ」という言葉もありますが、何事もやらされるのではなく、自分からやる気になって取り組んだ時にこそ、より一層大きな成長が期待できるのではないかと思います。そろそろ、次学年への進級も見えてくる時期です。今後も、子どもたちには、しっかりと目標をもち、コツコツと努力する姿勢を大切にして、様々なことに意欲的にチャレンジしてほしいと願っています。

